



かどましりつとしょかんだより

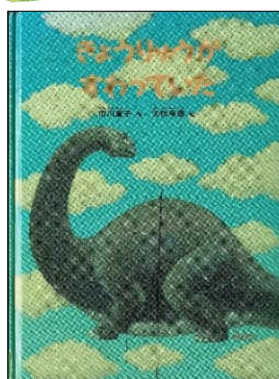
2023年 12月 第39号

ふゆやす 冬休みといえば、クリスマスに年越し、お正月と楽しい行事がもりだくさん！ごちそうもおとしだま 年玉も待ち遠しいですね。今回は寒さに負けないよう、心がほっこりする本、ハラハラ、ドキドキが止まらない本を紹介しつゝ、来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

おすすめのほん

「きょうりゅうがすわっていた」

市川宣子／作 福音館書店



えほん

きみが生まれる少し前に、パパのところにやってきたのはでっかいきょうりゅうだった。マンションの下こうさてんにすわりこんだきょうりゅうに、パパは毎日30 このキャベツを食べさせた。そんなある日、きょうりゅうがパパをつれて行ってくれた場所は？ 心があたたかくなるおたんじょう日とクリスマスの絵本。

「ピーターラビットのふるさとをまもりたい」

～ビアトリクス・ポターのものごと～

リンダ・エロビッツ・マーシャル／文 廣済堂あかつき



えほん

昨年120周年を迎えたピーター・ラビットの作者の伝記。ビアトリクス・ポターは19世紀に生まれた女性で、近代化していくイギリスから自然を守った人でもあります。卯年のおわりに、有名ないたずらうさぎをえがいた人の生涯をたどってみましょう。

「どんなきも名探偵」

杉山亮／作 偕成社

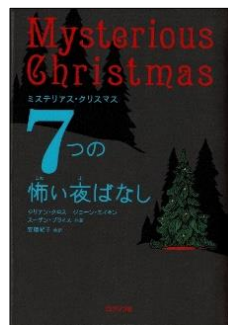


やさしいよみもの

最近、仕事のない探偵・ミルキー杉山。サンタのことうはん かくこうをしてアルバイトをしていると、強盗犯にまちがえられた。ひとつひとつの手がかりをじっくりさぐれば、ミルキー杉山より先に犯人がわかるかも。「犯人はサンタクロース」など2つの事件がはいっています。『ミルキー杉山のあなたも名探偵シリーズ』は25冊あるよ。

「7つの怖い夜ばなし」

ジリアン・クロス／他著 ロクリン社



よみもの

弟を怖がらせるために兄が唱えた呪文が思いがけないことになってしまう「果たされた約束」など、クリスマスにまつわる短いお話が7つ。イギリスには「クリスマスにゴーストストーリー（ゆうれいの話や不気味なお話）を語る」というならわしがあるそう。きらびやかなクリスマスの影に隠れた怖いお話を体験してみてください。



としょかんからのおしらせ

英語で楽しむおはなしの会

「MERRY CHRISTMAS, MOUSE（ねずみさんちのはじめてのクリスマス）」ほか

本館 12/16（土） 11時～11時45分

「What do you want to be?（何になりたいの?）」ほか

市民プラザ分館 1/13（土） 11時～11時45分

冬のおはなし会 おはなしの広場スペシャル

「クリスマスのおおきなくつした」ほか

市民プラザ分館 12/16（土） 11時～11時45分

クリスマスおはなし会

「とんとんとめてくださいな」ほか

本館 12/17（日） 11時～11時45分



えほんのひろば



10月は東小学校、大和田小学校で

えほんのひろばを開催しました。

みんな自由に絵本とふれあい、

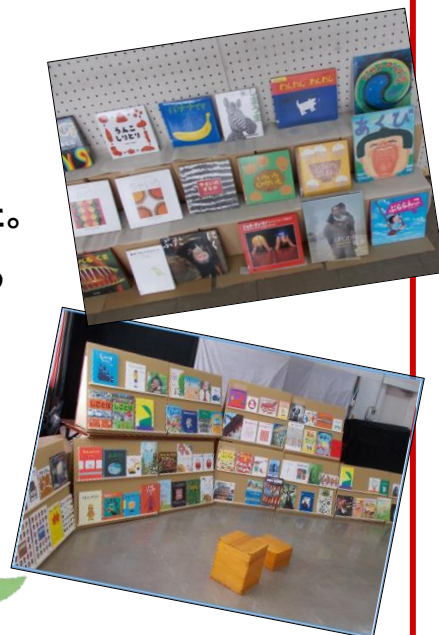
おともだちと楽しい時間をすごしました。

今後は二島、四宮小学校におじゃまする

予定です。いっしょにお気に入りの

1冊を見つけましょう！

「えほんのひろば」では300さつのえほんやしやしんしゅうをずらりとならべ、おともだちやせんせいとじゆうにほんをよむことができます



次号は2月上旬に発行予定

